

# 1 班 平和学習成果発表

## アメリカ側から見た原爆投下 世界から見た原爆投下

### グループメンバー

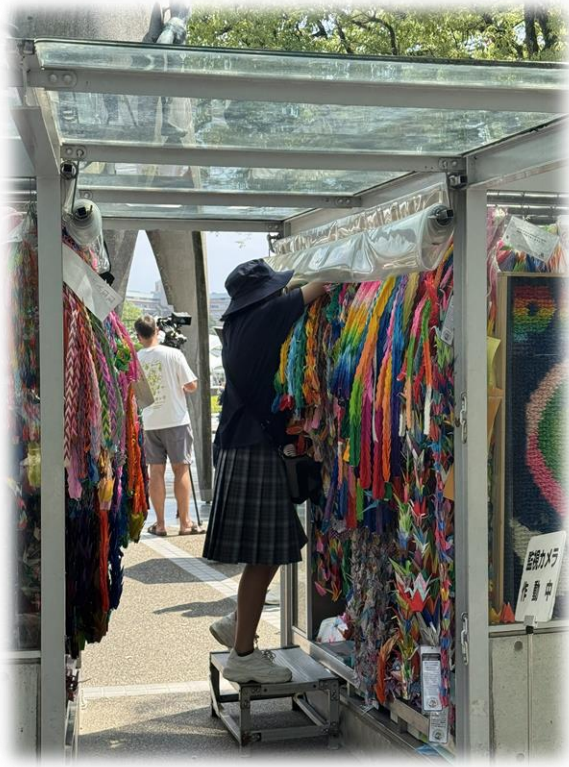
- ・ 豊科南中学校 山崎 雅斗
- ・ 豊科北中学校 芝 憲信
- ・ 穂高東中学校 古田 優一
- ・ 穂高西中学校 北澤 芽依
- ・ 三郷中学校 横川 珠那
- ・ 堀金中学校 降幡 梨音
- ・ 明科中学校 内川 小綺

松本大学 平和創造研究会 樋口 史弥

# 見学した施設

- 広島平和記念資料館
- 被爆体験記朗読会
- 全国こども平和サミット
- 厳島神社

# 見学の様子



# グループの学習テーマ

## 『アメリカ側から見た原爆投下、 世界から見た原爆投下』

### ・ 学習の着眼点

- ①なぜアメリカが広島と長崎に投下したのか
- ②原爆投下に対する世界の反応

# ①なぜ広島と長崎に原爆が投下されたのか

## ▶原爆投下の候補地

- ・候補地として、広島・小倉・新潟・長崎・京都・横浜・東京が検討されていた。

## ▶軍事的・人口的条件が整っていたため

- ・人口が集中し、半径5キロメートル以上の規模を持つ都市であった
- ・空襲をあまり受けておらず、建物や街が破壊されていなかったため爆撃効果の測定に適していた
- ・軍事施設や物資の輸送拠点があった

## ▶候補から除外された都市の事情

- ・京都は文化的・歴史的価値が高く、陸軍長官の強い反対により除外された
- ・小倉は捕虜収容所があったため除外された
- ・新潟や横浜は条件が合わなかった
- ・東京と横浜はすでに空襲で被害を受けていたため、原爆の効果測定に不向きと判断され除外された

## ▶背景にあった目的

- ・原爆の威力を実戦で検証し、戦争を早期に終結させアメリカ兵の犠牲を減らす狙いのほか、ソ連への威嚇も意図されていた

## ②原爆投下に対する世界の反応

### ▶アメリカの意見

- ・戦後直後の1945年の調査では、85%のアメリカ人が「原爆投下は正当であった」と答えている。戦争を早く終わらせ、多くの命を救ったため、正しいと回答する人がほとんどだった。
- ・2025年の調査では、原爆投下について「正当化される」と答えた人が35%、「正当化されない」は31%、「わからない」が33%になっている。中でも「正当化されない」と回答した割合で18歳～29歳では44%に上っている。

### ▶イギリス

- ・アメリカの同盟国として全面的に支持していた。

## 参加して新たに気付いたこと

- ・ 今世界に存在する約1万2,000発の核兵器のうち、約4,000発は今この瞬間にも使用可能な状態であること
- ・ 空襲による火災の延焼を防ぐため、広島市内の中学生が建物の取り壊しや防火隊の作業に動員されていたこと

# 感想

- 今まで戦争や広島で起こったことについて詳しく知らなかったけれど、学習したり、実際に広島原爆ドームや広島平和記念資料館を訪れて、戦争や原爆の恐ろしさや平和の大切さを学ぶことができました。

(豊科南中学校 山崎 雅斗)

- 80年という節目の年に現地を訪れ、様々なことを見聞きするなかで、これを多くの人がもっと知るべきだと思いました。だからこそ、現地に行った1人として1人でも多くの人に伝えていきたいと思います。

(豊科北中学校 芝 憲信)

- 平和記念公園内にたくさんの外国人がいたり、広島平和記念式典にもさまざまな人がいて、広島への平和への思いが世界に伝わっていることが分かりました。世界中で戦争が続く今、平和に対して一人ひとりが関心を持つことが大切だと感じました。

(穂高東中学校 古田 優一)

- トークディスカッションを通して、皆の原爆についての意見や世界からの原爆についての視点、考えを学ぶことができてよかったです。

(穂高西中学校 北澤 芽依)

# 感想

- 私はこの広島平和記念式典参加事業を通して、こうした貴重な経験からでしか学べない戦争の悲惨さや苦しさを思い知りました。色々と調べてみて、現在は平和における大切さを伝えていく活動が増えているようで、私自身、すごくいいことだなと感じますが、それでももっと、世界的に、「平和の大切さ」がこれから伝わってくといいなと心から思いました。

(三郷中学校 横川 珠那)

- 私は全体を通して、まず1945年8月6日（広島）と8月9日（長崎）で起こった悲劇をたくさんの人に知ってもらい、平和について考えてほしいと思いました。また、自分の考えもそうですが被爆体験記の内容等も多くの人につないでいてほしいです。

(堀金中学校 降幡 梨音)

- 広島平和記念式典に参加するという貴重な体験に加え、原爆ドームや広島平和資料館を見て改めて悲惨さを痛感しました。今回の体験を周りの人に伝えていきたいです。

(明科中学校 内川 小綺)

- 原爆投下から80年という節目の年に広島平和記念式典に参列でき、平和について改めて考える機会を頂きました。悲惨な出来事を風化させないために後世に伝えていき、同じ歴史を繰り返さないようにしたいと思いました。

(松本大学 平和創造研究会 樋口 史弥)

ご清聴ありがとうございました。